

(様式第4号)

平成26年度(第4期)第4回上下水道審議会 会議概要

1 審議会名	上田市上下水道審議会
2 日時	平成27年3月19日 午後2時30分から午後3時30分まで
3 会場	上田市南部終末処理場 2階 会議室
4 出席者	久保山会長、田中副会長、臼井委員、吉川委員、沓掛委員、倉沢委員、斎藤委員 清水委員、田中(実)委員、長尾委員、廣川委員、安井委員、山本委員 横井委員、若林委員
5 市側出席者	峰村上下水道局長、竹花上水道課長、柏木浄水管理センター所長 佐藤真田上下水道課長、関上水道課施設整備係長 (以下、経営管理課庶務係)岩倉課長補佐兼庶務係長、児玉主査
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	平成27年3月20日

協 議 事 項 等

1 開 会															
2 人事通知書交付・新任委員自己紹介 上田市自治会連合会の役員改選により4名の新委員へ人事通知書を渡し、第4期委員の委嘱を行う。															
3 あいさつ(峰村上下水道局長)															
4 出席職員自己紹介															
5 会長あいさつ															
6 協議事項															
(1) 簡易水道再編推進事業 上田市(真田地区)水道施設整備事業に係る事業評価について ・資料に沿い、竹花課長から概要を説明															
【水道施設整備事業(真田・上田地区)の概要】 四阿山の山ろくにある清冽で水量豊富な たちや水源並びに滝の入水源を、真田地域長、本原及び上田地域の一部へ供給することにより、安心・安全な水道水の供給と維持管理費の軽減を図り、水道経営の安定化に寄与するとともに、脆弱な簡易水道を強固な上水道へと再編する整備事業と併せて行うもの。 [事業費内訳]															
<table border="1"><thead><tr><th>施 設</th><th>名 称</th><th>事 業 費</th></tr></thead><tbody><tr><td>基本設計</td><td>認可設計・水利権補償料</td><td>50,000 千円</td></tr><tr><td>導水・配水施設</td><td>真田水道：たちや水源</td><td>1,193,600 千円</td></tr><tr><td>導水・配水施設</td><td>上田水道：滝の入水源</td><td>356,400 千円</td></tr><tr><td colspan="2">水道施設整備事業 計</td><td>1,600,000 千円</td></tr></tbody></table> 実施工程：5箇年事業(平成27年度～平成31年度) 計画水量：計 6,800 ㍓(たちや第3水源 3,000 ㍓/滝の入水源 3,800 ㍓)	施 設	名 称	事 業 費	基本設計	認可設計・水利権補償料	50,000 千円	導水・配水施設	真田水道：たちや水源	1,193,600 千円	導水・配水施設	上田水道：滝の入水源	356,400 千円	水道施設整備事業 計		1,600,000 千円
施 設	名 称	事 業 費													
基本設計	認可設計・水利権補償料	50,000 千円													
導水・配水施設	真田水道：たちや水源	1,193,600 千円													
導水・配水施設	上田水道：滝の入水源	356,400 千円													
水道施設整備事業 計		1,600,000 千円													
【上田市(真田地区)簡易水道再編推進事業】 事業評価は、[真田水道]たちや水源～本原簡易水道までの設置費 1,193,600千円について [財源]															
・国庫補助金：水道施設耐震化事業(厚生労働省；補助率1/4)	195,000 千円														
・起債	998,600 千円														
	1,193,600 千円														
総事業費16億円の内、半分は2年間(平成27年度～平成28年度)で行う。 真田水道の簡易水道事業統合補助金については、平成28年度までの時限付															

[給水開始予定]

宮浦・大日向：平成 29 年度 / 長中央：平成 30 年度 / 本原・上田（石舟）：平成 31 年度

[水源の現状]

真田地区の宮浦簡易水道、大日向簡易水道、長中央簡易水道、本原簡易水道の水源対策として、新たな水道事業を行う。宮浦水源、宮前水源、和熊水源、角間水源、旗見原水源、熊久保水源は湯水期水量が不足する。

脆弱な簡易水道については上水道へ統合する指示が厚生労働省からあり、今回の施設整備と併せ真田地区にある 1 上水道事業、7 簡易水道事業、1 専用水道事業を統合して真田水道とする計画。現在、認可申請の段取りを行っている。

[水需要の動向]

計画人口、計画水量を推計する中で、最近の動向では水の需要の増加は見込められず、財源は厳しい状況にある。国庫補助事業で取組みたい。

補助採択基準については、[事業評価書のとおり](#)

水の需要は、過去 8 年と比べ減少傾向である。

要因は、人口の減少と環境意識の高まりによる節水型機器の普及などによる生活用水の減少による。

今後、水道使用量の減少に伴い料金収入の減少が予測され、水道事業の経営はさらに厳しい状況にあり、簡易水道の統合により効率を図ることが必要となる。

[水需給予測]

平成 25 年度	10,458 人	8,626 トン
平成 27 年度	10,400 人	8,000 トン
平成 35 年度	9,630 人	7,248 トン
平成 45 年度	8,767 人	6,166 トン

[水源水質の変化]

宮浦簡易水道、大日向簡易水道、長中央簡易水道については、湧水を使用しており、雨が降ると濁る。

本原簡易水道は奈良尾第 1、第 2 水源の湧水を赤井浄水場で膜ろ過しているが、維持管理費用が高額となっている。

[水道事業者等の要望等]

施設の整備に当たり、地元からも要望され、整備促進については協力的である。

[技術開発の動向]

管路については耐震化を図り、大型の地震にも耐えることができる。

耐震性の高い、ダグタイル鑄鉄管 GX 形を全面的に対応して行きたいと考えている。

[代替案]

[事業評価書のとおり](#)

・以降、協議

(委 長) 起債の償還方法及び期間について

配水池を 2 箇所設けることについて、自然環境への配慮はされているか。

(事務局) 簡易水道に関わる起債については、半分は交付税で返ってくる制度があり、極力このような財源を有効活用していきたい。起債の償還は 30 年の予定。

配水池の候補地については、遊休荒廃地を中心に活用していく。

(委 員) 起債を償還する財源について

(事務局) 利息については 3 条予算、元金については 4 条予算を使う。事業のなかで内部留保金はあるが取り崩さずに、交付税措置もあるので補助金を活用していきたい。

(委 員) つちや第 3 水源、滝の入水源は湧水だが、クリプトスポリジウム対策はとっているか。

(事務局) つちや第 3 水源及び滝の入水源は、過去 3 年以上水質調査を行い、クリプトスポリジウム対策は必要ない水質だった。野生動物対策として、水源地の周りには侵入できないよう柵を設ける予定

(委 員) 水源の水域を守るため条例の制定は考えているか。

(事務局) 現場は、森林の中に湧き出ている場所。土地の所有者については上田市東御財産組合の公有地のため、民・民売買、乱開発の心配はない。条例の制定について検討はしていない。

(委員) この事業は、数年後も水道料金を値上げしないで現状維持とすることができる事業なのか。

(事務局) この事業は、実施計画(10年事業計画)に組み込まれており、現在の料金算定にはこの事業は入っている。平成29年度に次回の料金改定時期となるが、この施設以外にも古い施設が多くあり、高度成長期に建設した施設の老朽化対策として、施設の更新、補修を検討した上で、上下水道全体の状況を把握し見据えた中で料金について議論いただきたい。

(事務局) 料金改定の時期は、平成29年度

前年度の上下水道審議会に諮問して答申を出していただく。

現在の料金は、平成23年度のデータを基に、消費税分しか値上がりしていない。

今後は、アセットマネジメントで市内全部の施設の調査を行い、平成27年度のアセットマネジメントの結果を踏まえ、シミュレーションを行い、審議会へ諮問させていただく。調査の結果次第では料金の値上げが必要になることもある。

(委員) 貴重な動物等に配慮して行ってほしい旨、要望しておく

(委員長) 本事業の賛否について拍手をもって諮る。

(拍手)

協議結果：事業評価について妥当である。

(2) その他

次回、審議会の開催予定について

(事務局) 7月上旬及び11月上旬。1ヶ月前程度に通知します。

7 閉会

審議会閉会后 南部終末処理場の施設視察後、解散(13名出席)